

監理技術者等（専任特例1号）の配置届出書

年 月 日

和歌山県知事 宮 崎 泉 様

所在地
商号
代表者氏名

令和7年度和こセ第1号こころの医療センター管理棟空調設備改修工事の現場に配置する監理技術者等について、下記の工事を兼務させるので届け出ます。なお、下記工事は発注者から配置技術者の兼務について了解を得ています。

記

1 配置の確認事項

	同一の監理技術者等が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件まで。
	工事現場間の移動時間がおおむね2時間以内

2 配置の誓約事項

契約後、下記の措置が取られない場合は工事を兼務させず、専任の技術者を配置します。それにより当該配置技術者が変更となったときはやむを得ない事由を除き不履行時のペナルティの対象となることに異存ありません。

	下請次数は3次までとします。
	本工事及び兼務工事に監理技術者等との連絡その他必要な措置を講ずるための者（連絡員）を配置します。連絡員は、土木一式工事又は建築一式工事の場合は同業種の1年以上の実務経験を有する者を配置できます。
	本工事及び兼務工事にCCUS等の遠隔から現場作業員の入退場が確認できる措置を講じます。
	人員の配置の計画書を作成し、現場着手前に監督員に提出します。
	工事現場の状況の確認をするため必要な映像及び音声の送受信が可能な情報通信機器（スマートフォン等）を設置します。本工事及び兼務工事は必要な情報のやりとりが確実に実施できます。
	上記項目を全て満たしています。

レまたは を記載すること。

2 兼務する工事

発注者	
工事番号	
工事名	
工期	年 月 日から 年 月 日まで
施工箇所	
技術者氏名	技術者の従事役職

応札する工事又は兼務する工事において、受注者の責によらない理由により、やむを得ず監理技術者の途中交代が必要となった場合は、技術者の途中交代を認めるが、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保される等、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

3 兼務工事箇所図

- それぞれの工事場所を示す位置図を添付し、およその移動時間を記載すること。（A4,1枚）
（ ）工事現場間の移動時間がおおむね片道2時間以内であること。
注）移動時間は、地図サイト等を使用し、予測される移動時間を出力したもの等で差し支えない。

監理技術者（専任特例 2 号）の配置届出書

年 月 日

和歌山県知事 宮 崎 泉 様

所 在 地
商 号
代表者氏名

令和 7 年度和こセ第 1 号こころの医療センター管理棟空調設備改修工事の現場に配置する監理技術者について、下記の工事を兼務させるので届け出ます。なお、下記工事は発注者から配置技術者の兼務について了解を得ています。

記

1 配置の確認事項

	建設業法第 2 6 条第 3 項ただし書第二号による監理技術者の職務を補佐する者を専任で配置できる。
	同一の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に 2 件まで。
	監理技術者が兼務できる工事は同一建設部管内の範囲である。 (市、 町・・・)
	上記項目を全て満たしている。

レまたは を記載すること。

2 兼務する工事

発 注 者	
工 事 番 号	
工 事 名	
工 期	年 月 日から 年 月 日まで
施 工 箇 所	
技 術 者 氏 名	技術者の従事役職

応札する工事又は兼務する工事において、受注者の責によらない理由により、やむを得ず監理技術者の途中交代が必要となった場合は、技術者の途中交代を認めるが、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保される等、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

3 兼務工事箇所図

管内図等を使用し枠内に応札する工事と兼務する工事の箇所を記載すること。
応札する工事と兼務する工事が同一箇所である場合は、枠内に「同一箇所における兼務」と記載すること。

営業所技術者等の配置届出書

年 月 日

和歌山県知事 宮 崎 泉 様

所 在 地
商 号
代表者氏名

令和7年度和こせ第1号こころの医療センター管理棟空調設備改修工事の現場に配置する監理技術者等について、営業所技術者等を兼務させるので届け出ます。

記

1 配置の確認事項

	同一の監理技術者等が配置できる工事は、1件まで。
	営業所と工事現場の移動時間がおおむね2時間以内

2 配置の誓約事項

契約後、下記の措置が取られない場合は工事を兼務させず、専任の技術者を配置します。それにより当該配置技術者の変更となったときはやむを得ない事由を除き不履行時のペナルティの対象となることに異存ありません。

	下請次数は3次までとします。
	本工事及び兼務工事に監理技術者等との連絡その他必要な措置を講ずるための者（連絡員）を配置します。連絡員は、土木一式工事又は建築一式工事の場合は同業種の1年以上の実務経験を有する者を配置できます。
	本工事及び兼務工事にCCUS等の遠隔から現場作業員の入退場が確認できる措置を講じます。
	人員の配置の計画書を作成し、現場着手前に監督員に提出します。
	工事現場の状況の確認をするため必要な映像及び音声の送受信が可能な情報通信機器（スマートフォン等）を設置します。本工事及び兼務工事は必要な情報のやりとりが確実に実施できます。
	上記項目を全て満たしています。

しまたは を記載すること。

3 兼務工事箇所図

- それぞれの工事場所を示す位置図を添付し、およその移動時間を記載すること。（A4,1枚）
（ ）工事現場間の移動時間がおおむね片道2時間以内であること。
- 注）移動時間は、地図サイト等を使用し、予測される移動時間を出力したもの等で差し支えない。